

2014年12月期 第2四半期 決算説明会

サイオステクノロジー株式会社

(東証マザーズ : 3744)

2014年7月30日



- 1. 2014年12月期 第2四半期 決算概要**
- 2. 2014年度 成長戦略の進捗状況**
- 3. 2014年12月期業績予想**

1. 2014年12月期 第2四半期 決算概要



2014年12月期 第2四半期 決算概要



売上高 3,645百万円 (前年同期比11.2%増)

二桁増収

- 「Red Hat Enterprise Linux」*は**堅調**な伸び
- 「LifeKeeper」*は大規模案件の減少等により**横ばい**
- OSS*のサポートサービスやOSS関連商品は**順調**に推移
- MFP向けソフトウェア製品*は引き続き**大幅伸長**
- クラウド*分野の製品・サービスが**順調**に推移

営業利益 53百万円 (前年同期比 63.6%減)

EBITDA 86百万円 (前年同期比 52.4%減)

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

- 営業・マーケティングの強化、自社製品開発のためのR&D投資（前年同期比44.6%増）、および人員増員（前年同期比30名増）等の費用負担により**減益**

※ 「*」を付した用語につきましては、P23に解説を記載しております。

2014年12月期 第2四半期 業績（連結）



単位：百万円	13年12月期 1-2Q実績	14年12月期 1-2Q実績	差額	増減率
売上高	3,278	3,645	+367	+11.2%
売上総利益	1,290	1,425	+135	+10.5%
営業利益	147	53	△93	△63.6%
経常利益	157	60	△96	△61.3%
四半期純利益	116	4	△112	△96.4%
EBITDA	181	86	△95	△52.4%
(連結従業員数)	232名	262名	+ 30名	+12.9%

※EBITDA・・・営業利益+減価償却費+のれん償却額

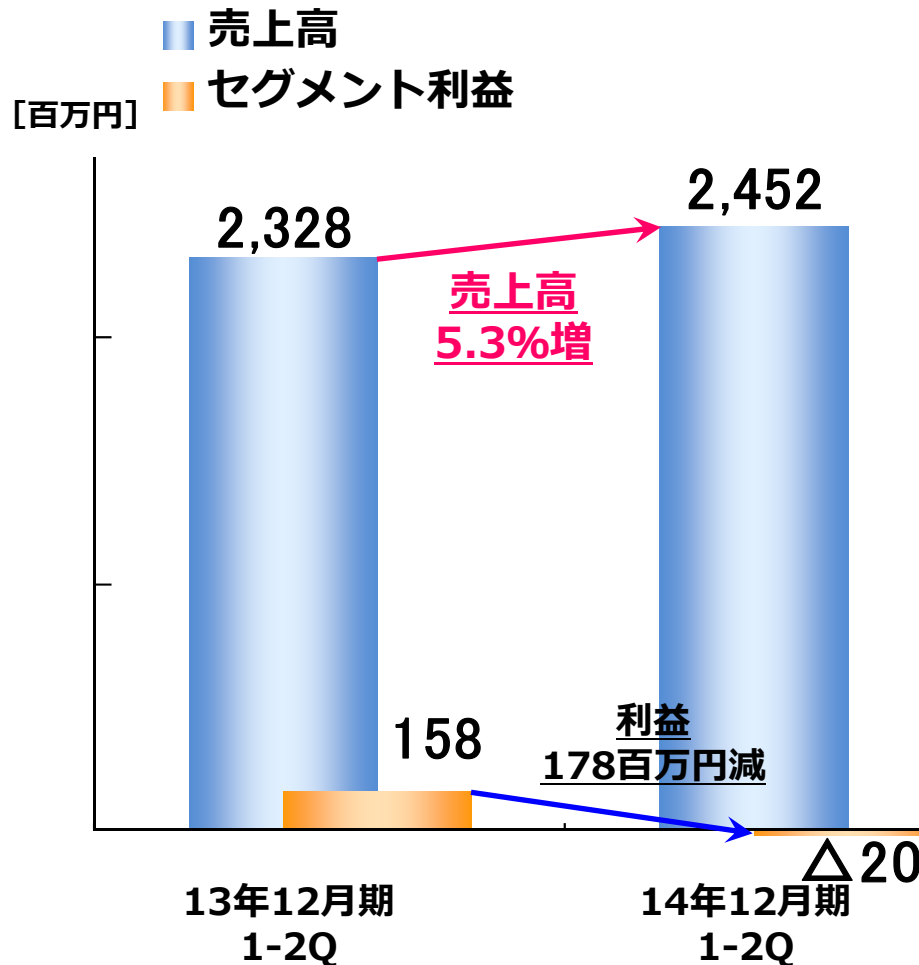
※社員数は、期末時点での正社員人数と派遣社員・契約社員の平均雇用人数の合計

※当社グループは連結経営で企業価値向上を図っているため、各社単体の決算は表示を省略

オープンシステム基盤事業について



売上高 2,452百万円（前年同期比 5.3%増）
セグメント損失 △20百万円（前年同期は 158百万円）



売上高

[国内]

- 「Red Hat Enterprise Linux」が**堅調**
- 自社製品「LifeKeeper」は大規模案件の減少等により**横ばい**
- OSSのサポートサービスやOSS関連商品が**順調**に推移

[海外]

- 米州は**堅調**

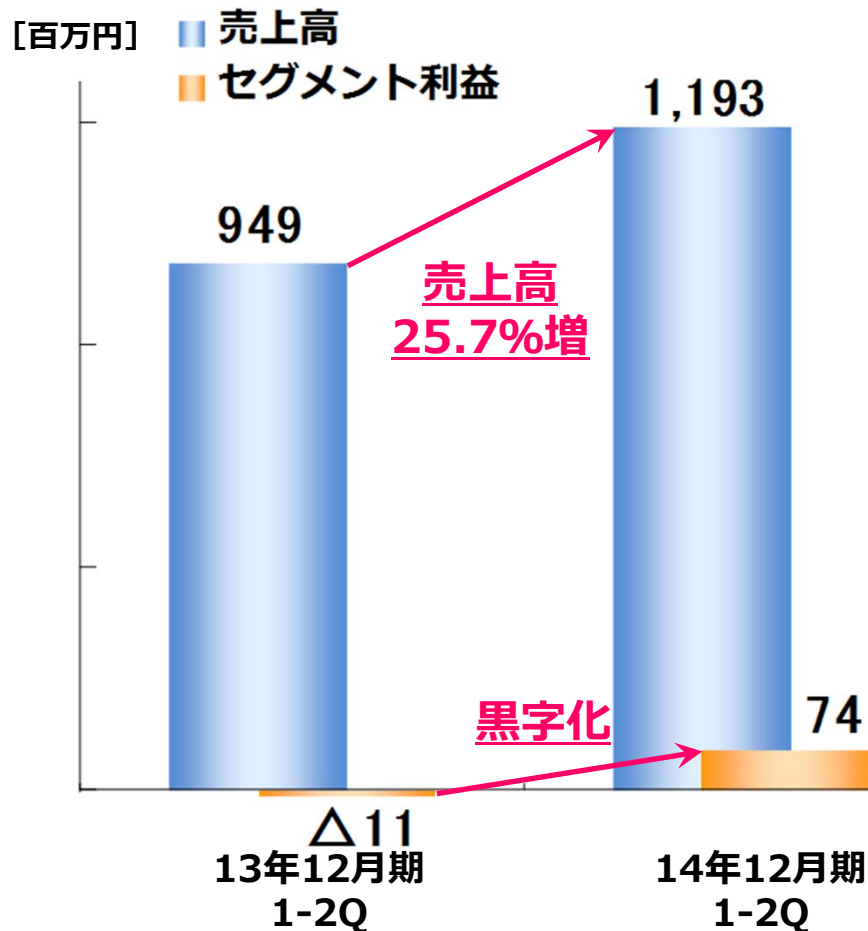
セグメント損失

- 新製品開発のための積極的な投資
- 技術・営業社員の増員
- 「Red Hat Enterprise Linux」は競争激化により利益率が**低下**

Webアプリケーション事業について



売上高 1,193百万円 (前年同期比 25.7%増)
セグメント利益 74百万円 (前年同期は △11百万円)



売上高

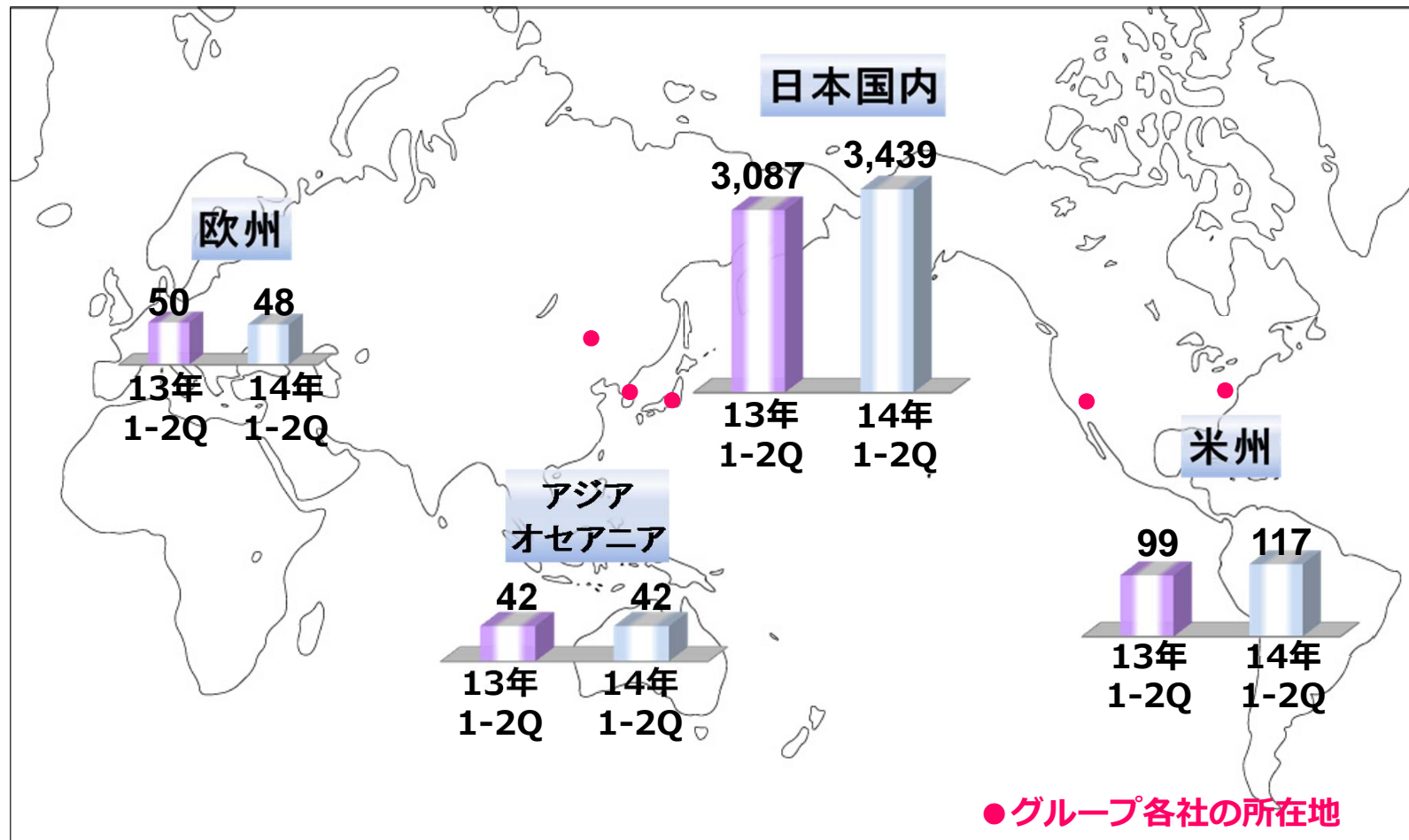
- MFP向けソフトウェア製品は**大幅伸長**
- 「Gluegentシリーズ」*をはじめとするクラウド分野の製品・サービスが**順調**に推移
- ビッグデータソリューションは想定を**上回る**

セグメント利益

- 研究開発や人員採用を積極的に行い販管費が増加したが、売上の伸長により**黒字化**

地域別売上高の状況

(単位：百万円)



※ 1ドル当たり13年は97.73円、14年は102.46円で換算

2014年12月期 第2四半期 貸借対照表（連結）



単位：百万円	2013年 12月末	2014年 6月末	増減
流動資産合計	2,869	3,008	+138
（現金・預金）	1,733	1,981	+248
（売掛金、その他）	1,136	1,027	△ 109
固定資産合計	327	352	+25
資産合計	3,196	3,360	+163
流動負債合計	1,326	1,541	+215
（1年内返済長期借入金）	5	4	△ 1
固定負債合計	118	127	+8
（長期借入金）	6	4	△ 1
負債合計	1,444	1,669	+224
純資産合計	1,751	1,691	△ 60
（為替換算調整勘定）	△ 220	△ 249	△ 28
負債純資産合計	3,196	3,360	+163

【財政状態】

- **現金・預金 +248百万円増加**
- **手元資金は約20億円へ**
（今後の成長戦略を加速するための潤沢な資金）
- **有利子負債は僅少**
- **実質無借金経営を継続**
- **自己資本比率は50.0%と安定を維持**（前期末は54.7%）
- **純資産合計の減少は配当金の支払い43百万円**

2014年12月期 第2四半期 キャッシュ・フロー（連結）



単位：百万円	13年12月期 1-2Q実績	14年12月期 1-2Q実績	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	207	380	+173
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 165	△ 53	+112
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 17	△ 42	△ 24
現金及び現金同等物に係る換算差額	97	△ 36	△ 134
現金及び現金同等物の増減額	121	248	+126
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,707	1,981	+273

<主な要因>

- **営業活動によるキャッシュ・フロー 380百万円**
 - 税金等調整前四半期純利益60百万円、前受金の増加額122百万円、売上債権の減少額96百万円、法人税等の還付額42百万円等
- **投資活動によるキャッシュ・フロー △53百万円**
 - 固定資産の取得による支出33百万円、投資有価証券の取得による支出20百万円等
- **財務活動によるキャッシュ・フロー △42百万円**
 - 配当金の支払額43百万円、新株予約権の発行による収入3百万円等

2. 2014年度 成長戦略の進捗状況



2014年度は成長戦略の初年度



成長への強靱な基盤を築く

人材投資

新たな成長起点の年と位置づけ、積極的に人材投資を行う

研究開発

新規分野拡大・製品力強化のために積極的にR&D投資を行う

M&A/提携

各事業パートナーとの戦略的提携およびM&Aを推進

オープンシステム基盤事業

- ▶ 自社製品の「LifeKeeper」のクラウド、仮想化対応を強化
- ▶ OSS関連ビジネスにおける営業・技術・マーケティングの各機能強化による競争優位性の確立

Webアプリケーション事業

- ▶ MFP向けソフトウェア製品の機能拡張、営業活動の強化
- ▶ クラウド、スマートフォン関連の製品・サービスの提供拡大
- ▶ ビッグデータ*、MBaaS*等の事業展開を加速

2014年度 現在までの成長戦略進捗状況



オープンシス
テム基盤事業

クラウド対応の最新版
「LifeKeeper8.3」の販売開始

オープンシス
テム基盤事業

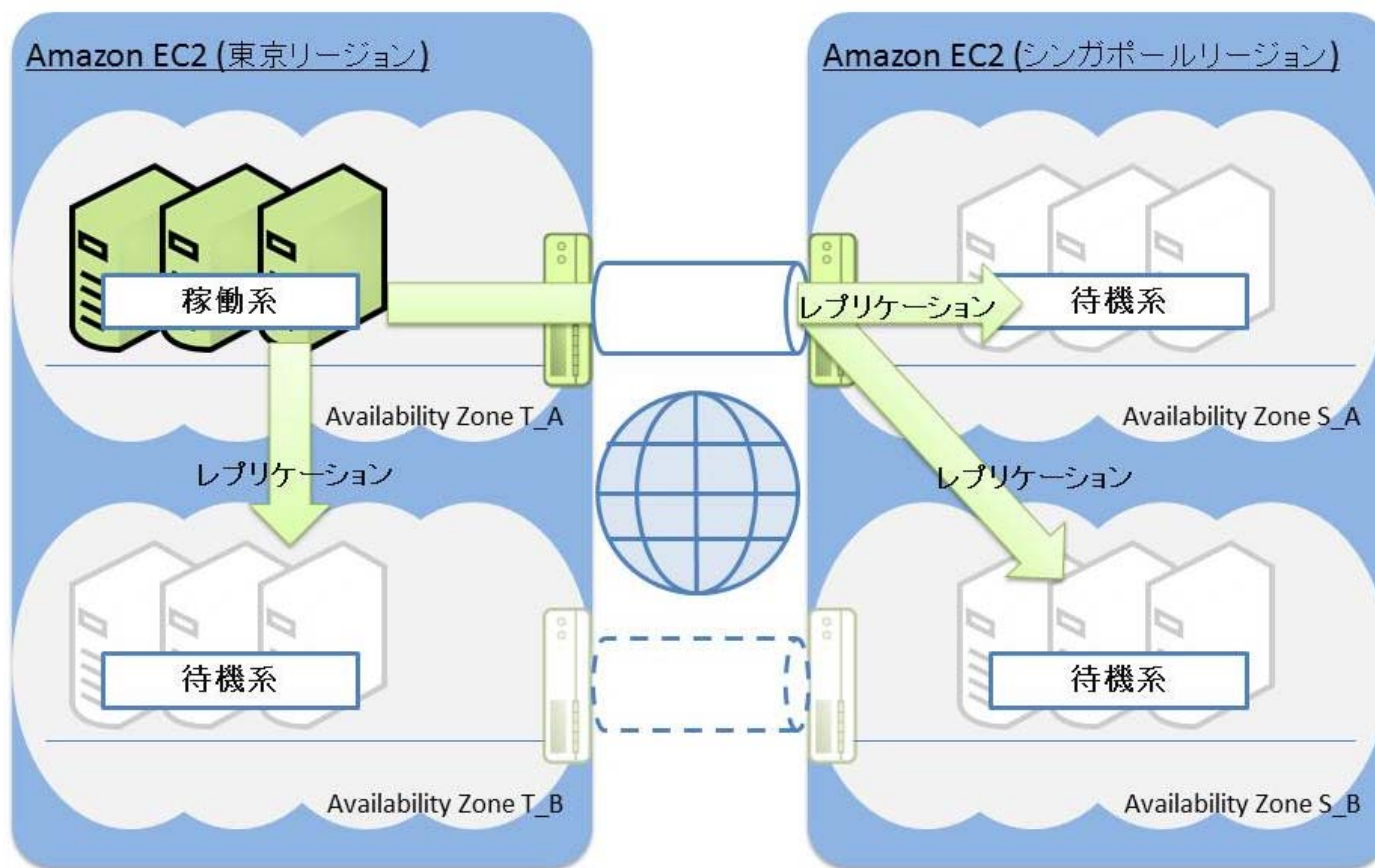
OSS拡大に向けWebサーバーソフト
ウェア「NGINX Plus」*販売開始

Webアプリ
ケーション事業

ビッグデータのクラウド連携サービス
の提供開始

クラウド対応の最新版「LifeKeeper8.3」の販売開始

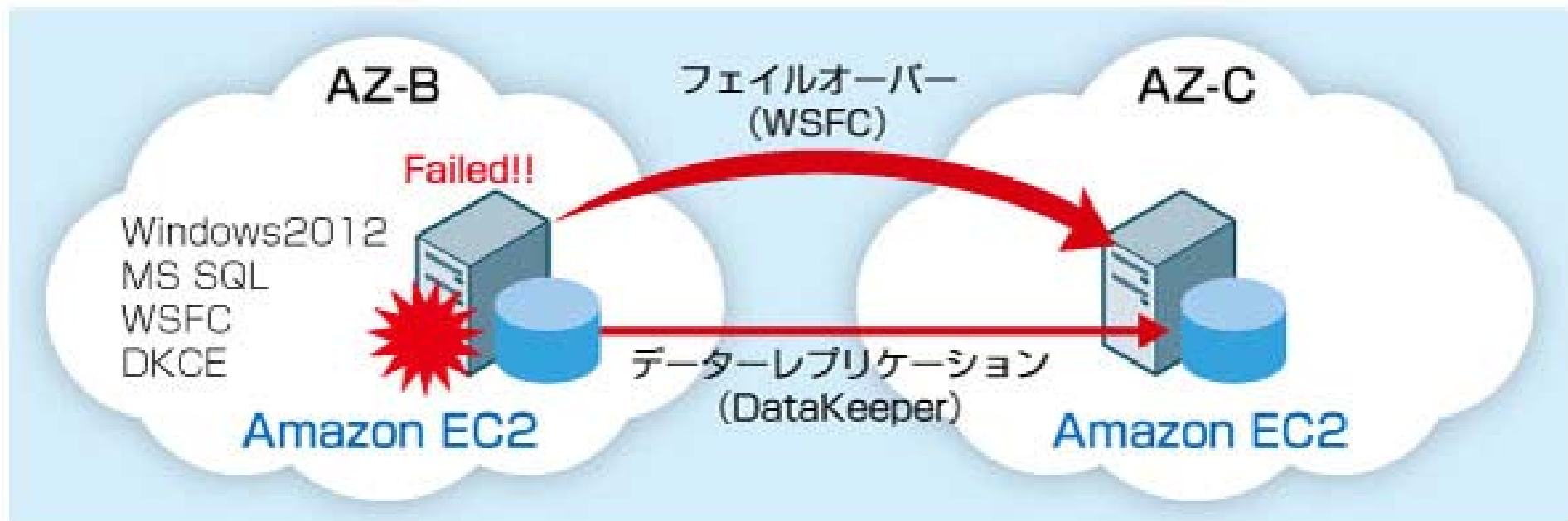
- 「LifeKeeper8.3」では、アマゾンウェブサービス*の世界10カ所の地理的に離れた場所間で災害対策システムの構築が可能に！これまでは国内のみでしたが、今後は大規模障害の発生時にもサービス継続が可能！



* アマゾンウェブサービスでのシステム障害時の対応例

自社製品「DataKeeper」のクラウド対応事例

- 中古車流通業を展開するガリバーインターナショナル（東証1部、証券コード：7599）は、社内システムのアマゾンウェブサービスへの移行で「DataKeeper」*を全面採用！



* DataKeeperを活用した既存システムのAWSへの移行イメージ図

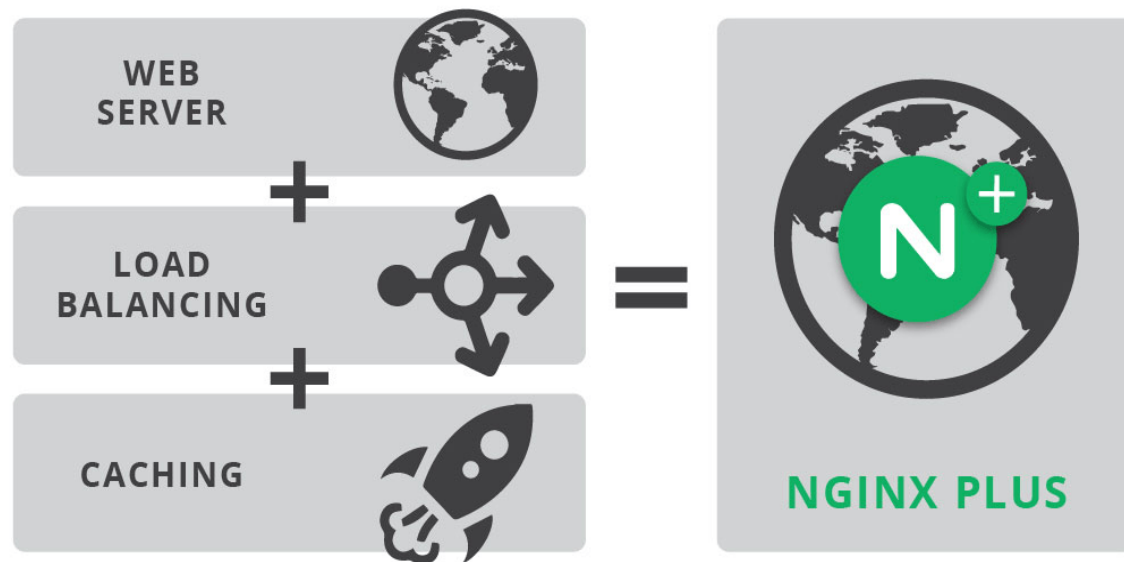
- 「DataKeeper」はリアルタイムにデータの複製を行い、システムの障害時に障害直前までのデータを保全、安定したシステム稼働環境を実現

Webサーバーソフトウェア「NGINX Plus」販売開始

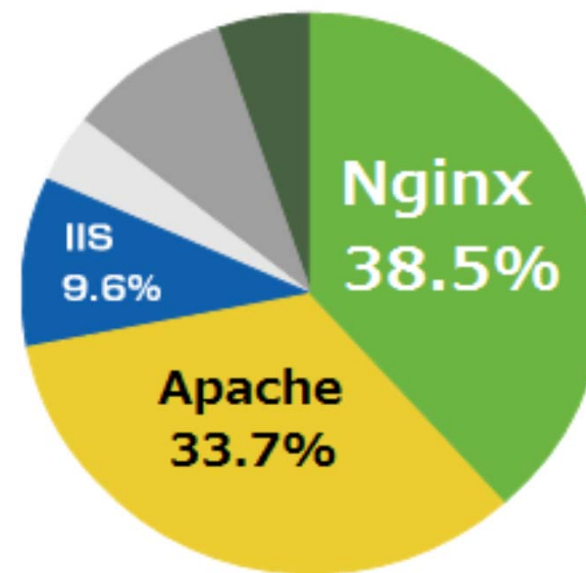
大規模なWebサイトを中心に利用が拡大している次世代のWebサーバーソフトウェア「Nginx」の機能拡張版「NGINX Plus」の販売開始！

- 「Nginx」は、Eコマース・ゲーム、SNS、動画配信等の高速かつ負荷の高いWebサービスを中心に、約1億4千万サイトで利用されている。

▶ 「NGINX Plus」は、OSSとして公開されている「Nginx」に企業向けの機能拡張を付加



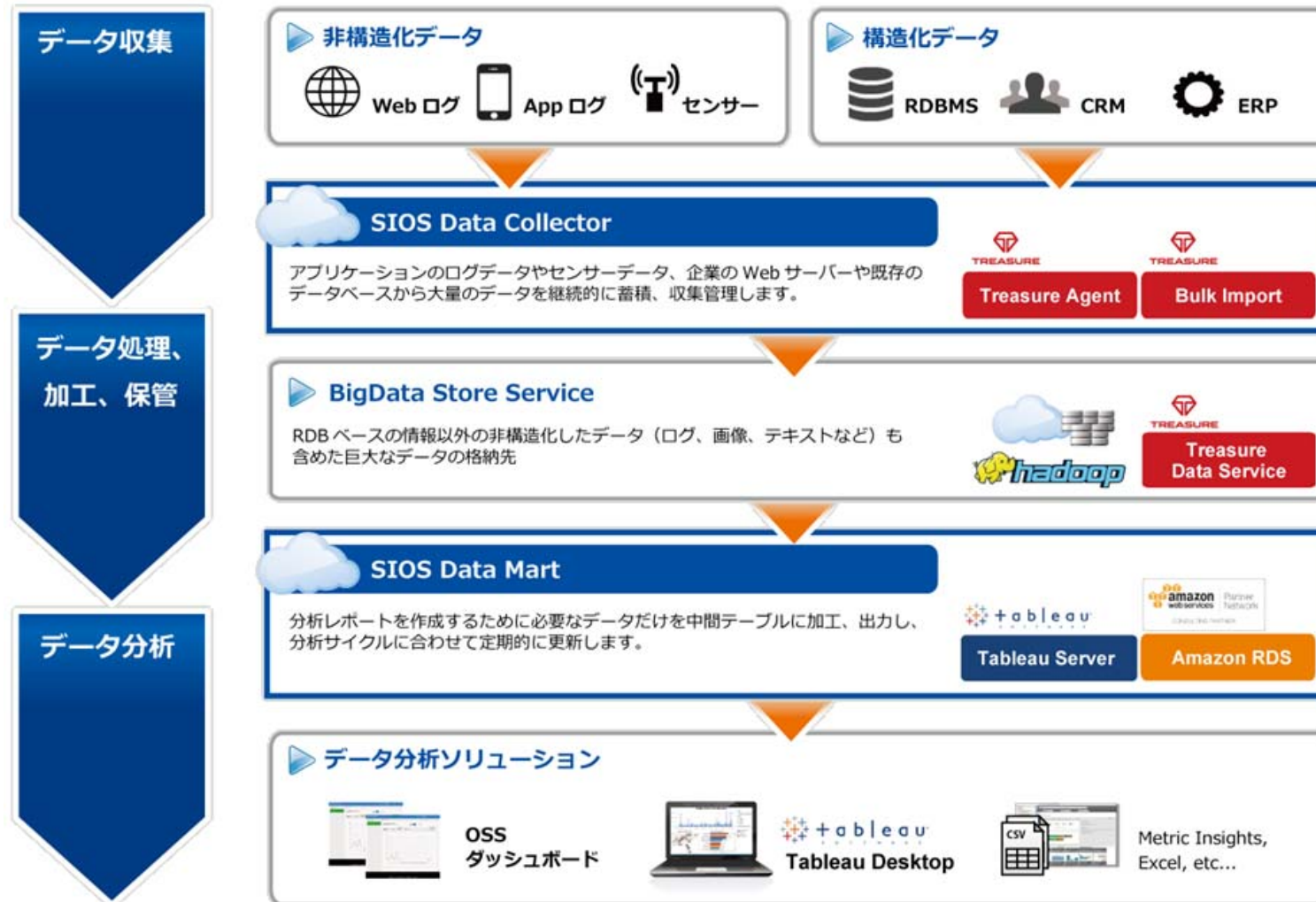
世界トップ1,000サイトの38.5%がNginxを採用



出典：W3Techs, April 2014

ビッグデータの活用を簡略化するサービスの販売開始

ビッグデータの収集サービス「SIOS Data Collector」、 ビッグデータの加工・出力サービス「SIOS Data Mart」の販売を発表



2014年度 成長戦略 今後の予定



オープンシステム基盤事業

米国子会社にて開発中のクラウド向け
新製品の販売開始

Webアプリケーション事業

米国子会社Glabioのサービス開始

3. 2014年12月期業績予想



2014年12月期 通期業績予想



2014年度は増収を見込む。営業損益以下の項目は中計達成に向けて積極投資を行うため減少を見込む

	(a)	(b)	(b) ÷ (a)	(c)	(c) ÷ (b)
単位：百万円	13年12月期 実績	14年12月期 通期予想	前年 同期比	14年12月期 1-2Q実績	通期予想 進捗率
売上高	6,624	7,200	+8.7%	3,645	50.6%
営業利益	246	100	△59.4%	53	53.6%
経常利益	265	100	△62.3%	60	61.0%
当期純利益	110	30	△72.9%	4	13.3%
EBITDA	322	200	△42.8%	86	43.0%

- 2014年は「新規分野の拡大」「研究開発」「人材投資」を積極的に推進中
- ビッグデータソリューション、MBaaS等の新たな事業分野に取り組む
- LifeKeeper、MFP、クラウド関連製品等の機能拡張のための積極投資
- コアビジネスのOSS、LifeKeeper、MFPでの差別化を推進

株主への利益還元



■ 当期配当予想（2014年12月期）

➤ 現時点での業績予想を前提に、1株当たり**5.0円**の配当予定

	第15期 2011年12月期 (3期前)	第16期 2012年12月期 (前々期)	第17期 2013年12月期 (前期)	第18期 2014年12月期 (当期予想)
年間配当	0.00円	(※) 3.00円	5.00円	5.00円

(※) 2013年7月1日付で1株につき100株の株式分割を実施しているため、前々期の年間配当は株式分割補正後の値を記載

■ 配当方針

➤ 経営成績、財政状態および今後の事業展開を勘案し、必要な内部留保を確保しつつ、業績に応じた配当を継続していく方針

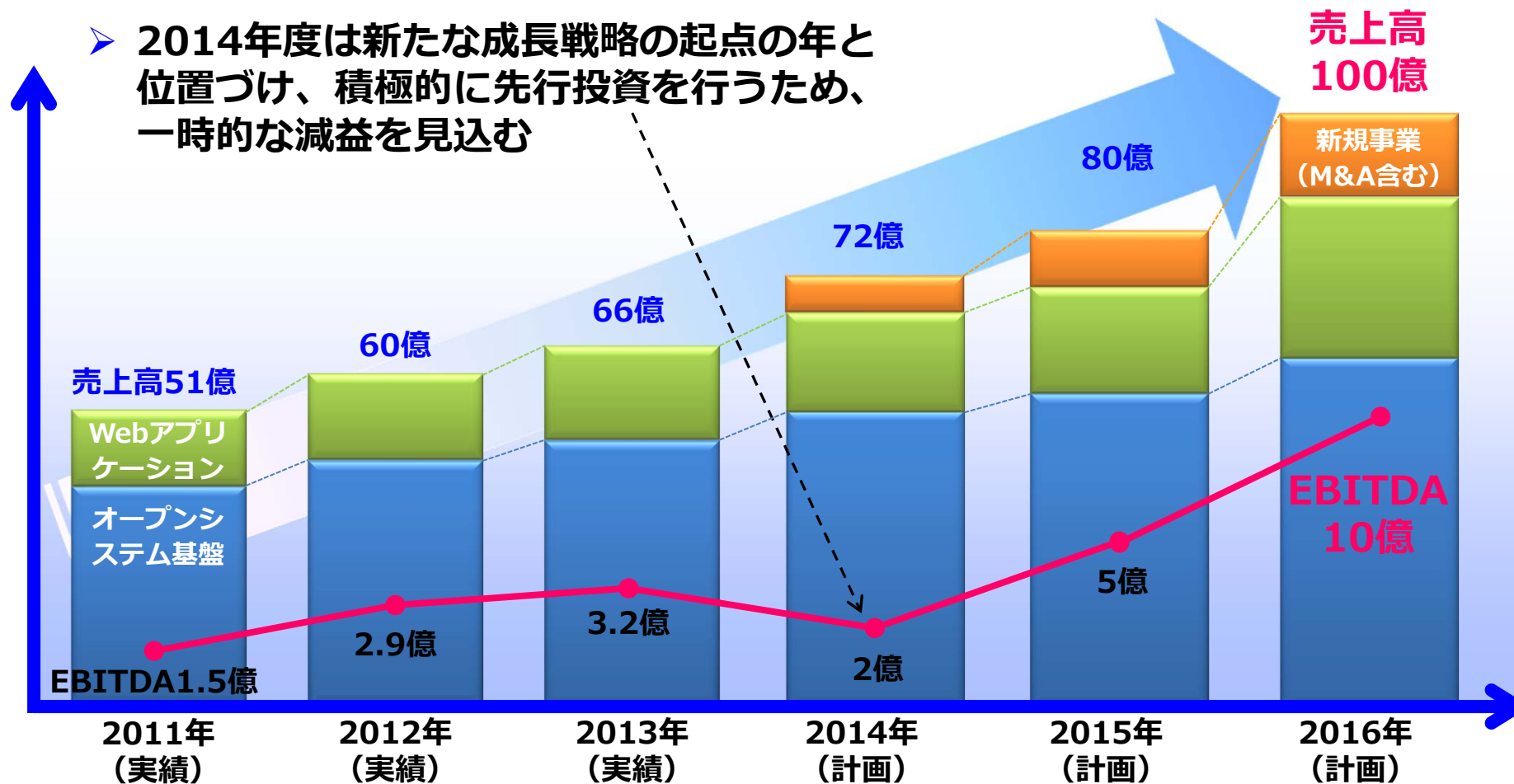
中期目標数値について

当社グループは2016年度に

売上高100億円、EBITDA10億円を目指します。

(EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額)

- 2014年度は新たな成長戦略の起点の年と位置づけ、積極的に先行投資を行うため、一時的な減益を見込む



サイオスについて



SIOS is Innovative Open Solutions

1997年の創業以来、OSSを軸にWebアプリケーションやOS（基本ソフトウェア）からWebアプリケーションにかかわる事業を展開し、新たな価値の創造に取り組んでいます。

本 社 東京都港区南麻布2-12-3 サイオスビル

資本金 1,481百万円

設 立 1997年5月23日

社員数 連結262名（2014年6月30日現在）

連 結 子 社 SIOS Technology Corp.（米）、賽欧思（北京）科
会 社 技（中）、グルージェント（日）、SIIIS（日）、
ストークラボラトリー（日）、Glabio,Inc.（米）



用語集



頁	用語	説明
3	Red Hat Enterprise Linux	世界をリードするオープンソリューションプロバイダーRed Hat, Inc.が開発するLinux OS。
3	LifeKeeper	米国子会社SIOS Technology Corp. の開発製品。本番稼働のサーバーとは別に、同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うHA（ハイアベイラビリティ）クラスターソフトウェア。
3	OSS(オープンソースソフトウェア)	ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。
3	MFP向けソフトウェア製品	プリンタ、スキャナー、コピー、FAX等複数の機能を搭載した機器をMFP(Multi Function Peripheralの略)という。MFP上を効率的に利用できる文書管理ソフトウェア「Quickスキャン」等の開発・販売・保守。
3	クラウド	コンピュータ処理をインターネット経由で、サービスとして利用できるコンピュータの利用形態。
6	Gluegentシリーズ	子会社グルージェントのサービス。社内のワークフローをクラウド化する「Gluegent Flow」をはじめ、Google Calenderにチームメンバーの予定管理機能等を付加した「Gluegent Apps グループスケジューラー」等、企業におけるクラウドを利用した業務効率化等を支援するサービス。
11	ビッグデータ	サイオスが提供するビッグデータソリューションは、大規模データを従来より低コストかつ短時間で解析・分析等できるソフトウェアを利用したクラウドサービス。
11	MBaaS	MBaaS（Mobile Backend as a service）の略、スマートフォンアプリの開発に必要な汎用的機能を提供し、スマートフォンアプリを効率よく開発できるクラウドサービス。
12	NGINX Plus	米国のNginx, Inc. の開発製品。OSSのWebサーバーソフト「Nginx」を基に、アプリケーションロードバランシングや高度なキャッシュコントロール等、各種機能を追加した商用製品。
13	アマゾンウェブサービス	Amazon.comがWeb事業者や開発者向けに仮想サーバーのレンタル等、インフラ系のクラウドサービスを提供するオンラインサービス。
14	DataKeeper	米国子会社SIOS Technology Corp. の開発製品。データの複製を別の場所にリアルタイムに保存することを実現するソフトウェア。

ご留意事項

業績予想につきましては、現在入手している情報に基づいた当社の判断であり、不確定要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要素により業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向などが含まれております。但し、業績に影響を与え得る要素は、これらに限定されるものではありません。

本件に関するお問い合わせ

サイオステクノロジー (IR担当)

Tel : 03-6401-5111 (代表)

Webによる場合はこちらからお問い合わせください

→https://www.sios.com/ir/form-IR_ssl.html



SIOS